



「全日本卓球選手権大会(ホープスの部)」 「全国ホープス卓球大会」制覇!!

新発田支部 本間 裕之

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)を除く、ほぼ全ての大会が中止となり、日々、一生懸命、練習に励んできた選手達にとっては、まさに無念としか言いようがない一年でした。令和三年度に入り、新しい生活様式の中で、少しずつ状況が緩和され、感染防止対策が徹底された中で、徐々に各カテゴリーの大会が開催されるようになったことは、選手達にとって大きな希望の光であり、大会開催にあたった関係各位の御尽力に心から感謝いたします。

そのような中で開催された「令和

新潟県卓球連盟

卓球便

vol.56

令和3年12月20日

発行人/新潟県卓球連盟

印刷所/㈲フジプリント(新潟市)

三年度全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部)では、当支部所属の新発田ジュニア 川上流星選手が見事、男子ホープスの部で、同ジュニア出身の龍崎東寅選手以来となる『全国優勝』を果たし、新潟県に明るいニュースを届けることができました。

コロナ禍での開催ということもあり、大会会場での練習は全て禁止、そして準々決勝までは全て三ゲームマッチという、感覚的にも精神的にも難しい状況下での大会でしたが、結果的に全てストレート勝利で優勝できたことは、本人にとっても確かな自信と成長に繋がった大会だったと感じています。

また、令和三年八月十六日から十八日に京都市で開催された「ロート製薬杯 第三十九回全国ホープス卓球大会」では、新発田ジュニア創設二十三年目にして、男子団体で初の全国制覇という栄冠を手にしました。(女子は平成十九年度に全国優勝を経験)

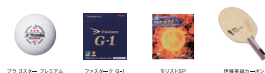
低学年の頃から互いに切磋琢磨し、練習に励んできた四人の小学六年生(川上流星、畠山陽、渡辺優心、

本間歩汰)。小学生の集大成として挑んだ今大会では、選手全員が『優勝』という共通の目標に向けて一戦一戦、プレーしたことが結果に結びついたものと感じています。

このような素晴らしい成績が残せたのも、日々、全身全霊をかけて子ども達の指導にあたっている姚天明先生の存在なくてはありえませんが、普段の姚先生の指導は厳しいものですが、本番では、選手達がリラックスして自分の力を発揮できるよう、決して喜怒哀楽を表に出さず、

すべては勝利のために。

伊藤美誠選手を支えるニッタクのギア



Nittaku
https://www.nittaku.com





常に冷静に戦況を見守ってくれます。それは、どんな試合結果に終わっても変わることがありません。以前、姚先生が「選手の敗戦は、指導者の責任です。本番で手を抜く選手など一人もいません。だから、私は試合後に選手を怒ったりしません。」と話してくれたことがあります。その言葉を聞いたとき、一人の人間として心が動いたことを今でも覚えています。

『二期一会』という言葉がありますが、姚先生という素晴らしい指導



者に出会ったことで、これまで果立った卒業生も含め、多くの子ども達の人生が変わっています。今の子ども達はその事に気付くのは、もう少し先のことだとは思いますが、だからこそ、今この瞬間を大切に、日々の練習に取り組んでほしいと願っています。

2021世界卓球選手権ヒューストン大会(個人戦) 男女日本代表選手選考合宿を開催して

新発田市役所 山下 哲哉

八月三十日(月)〜九月二日(木)までの四日間、新発田市カルチャーセンターにおいて、2021世界卓球選手権ヒューストン大会(個人戦)男女日本代表選手選考合宿を開催いたしました。

当初の計画では、2021世界ユース卓球選手権大会男女団体日本代表選手第一次選考会を開催する予定でしたが、日本卓球協会として当初予定していなかった国際大会が急遽決定したとのことで、各種大会の日程調整が生じたことにより、新発田市内で開催することになりました。

参加選手は、国内トップの選手(残念ながら東京オリンピックメダリストは選考合宿免除のため不参加)

加) たちによる真剣勝負の試合を開催することになるため、「練習ができるサブアリーナがないけど大丈夫?」「卓球台はかなり傷んでいるけど大丈夫?」また、当時は新発田市内でも毎日のように新型コロナウイルス感染者が確認されており、「こんなときに全国各地から選手や関係者を受け入れてもいいの?」「トップレベルの試合を多くの人に見て欲しいけど有観客で行ってもいいの?」等々多くの課題をクリアする

MOTTIF
NEW SHOW COURT

静かに未来へ羽ばたく飛翔の翼。
さらなる高みをめざす飛躍のモチーフ。

株式会社 三英
〒270-0119 千葉県船橋市おおたかの森一丁目10番地の6
TEL: 04-7154-4661 FAX: 04-7154-4665

ISO 9001
ISO 14001

必要はありましたが、各方面皆様からのご協力により何とか開催することができました。

ちなみに、新型コロナウイルス感染症対策については、日本卓球協会の指導の下、県外からの来場者（選手、コーチ、報道、役員等）と、その来場者と会場内で関わる県内の審判員や運営スタッフ全員が抗原検査

を受けること、そして抗原検査の結果陰性が証明された者は、選考合宿期間中抗原検査を必要としない観覧者等と接することが禁止され、会場内でも動線を分けるなど対策を徹底いたしました。

選考合宿には新潟県に



関係のある選手として、龍崎東寅選手（新発田ジュニアOB）、川上流星選手（新発田ジュニア）が出場いたしました。龍崎選手においては決勝リーグ進出まであと一歩に迫る成績であったり、川上選手は全日本ホープスチャンピオンとして、また出場最年少選手として格上の選手に対して一歩も引けを取らないプレーを披露し、両選手がポイントを取る度に

ひととき大きな拍手を受け、選考合宿を大いに盛り上げていただきました。どの試合もテレビで見たことのある選手、名前を聞いたことのある選



手たちが、見応えあるラリーの応酬、気迫あふれるガッツポーズと日本代表に対する熱く強い想いが十分に伝わる試合ばかりで、来場していただいた皆様には、十分に堪能していただけたのではないかと考えております。

最後になりますが、選考合宿を運営するにあたり日本卓球協会はじめ、新潟県卓球連盟、新発田市卓球連盟、新潟大学卓球部、新発田中央高校卓球部など多くの方からのご支援ご協力をいただいたことに感謝を申し上げ、2021世界卓球選手権ヒューストン大会（個人戦）男女日本代表選手選考合宿のご報告とさせていただきます。





今年のインターハイは富山県富山市（富山市総合体育館）で行われました。久しぶりの北信越開催（平成二十四年の長野開催以来）、地元気分での大会でした。ですが、コロナ禍の中いろいろなことがありました。無観客での試合のため、あのインターハイ独特の大応援団の醸し出す雰囲気



新潟県高体連
卓球専門部委員長
松本 滋

令和3年度 全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」 第90回全国高等学校卓球選手権大会（走れ北信越の大地をとべ北信越の大空へ）

●令和3年8月12日（木）～8月17日（火） ●富山県総合体育館（富山県富山市）



が、また違うものになっていました。応援は少なく（拍手のみ）静かではあるのですが、一部エキサイトする選手もいたり、まったく声を上げない選手もいたり、普通とは違う感じですね。（コロナ禍においての普通なのかもしれませんが）また保護者の

ためには動画配信が完備されており（全台、全試合を中継。ただ同時配信のため、後から試合のすべてを見ることはできなかったと思います）インハイTVにより目の前で見ている試合も動画配信されているものと一緒に見ることができたりするという体験。（それによってもものすごい勢いでギガが消費されていくのも目の当たりにしました。ああこんな感じで動画を見ていると、使い放題でなければとてもやっていけないというのは当然のことなのだと思いました。）

また、今は当たり前のようになっていますが入り口での検温、チェックシートの提出、出入り口の一方通行制、などのコロナ予防対策はしておりました。ですが選手にも役員にも陽性者が出たため、大会棄権者も出、業務にも支障が出たりしました。どんなに注意していても罹るものは

罹るのだということ、その後の偏見や差別につながらないようにすることの大切さは感じました。（特にその後の混乱はなかったと思います）誰がではなく、大会が運営できるように何をすべきかと、罹ったものが出た後の迅速で的確な処理が大切なことを感じ、大きな経験を得たと感じました。（ちなみにインターハイの競技数は三十三ほどありますがコロナ関連で出場できなかった学校があった競技は二十三です。およそ2/3の競技で棄権があったと



いうことです。また延べ七十五の学校の選手が出場できなかったという報告がありました。)

この富山インハイは九十回の記念大会にあたり、学校対抗戦において各県一校以外に、各ブロック(全国を八ブロックに分けています)からの参加校を出せました。北信越ブロックは男子が新潟県の新潟産業大学附属高等学校、女子は福井県の啓新高等学校が代表決定戦に勝利し出場権を得ました。

さて男子学校対抗には新潟県から二校出場です。第二代表の新潟産業



〔大会記録〕

〈男子学校対抗〉

- 1回戦 新潟産業大学附属高等学校 3-1 岩手日大 (茨城)
- 1回戦 開志国際高等学校 3-2 和歌山工業 (和歌山)
- 2回戦 新潟産業大学附属高等学校 2-3 日南学園 (宮崎)
- 2回戦 開志国際高等学校 3-1 徳島城南 (徳島)
- 3回戦 開志国際高等学校 0-3 愛工大名電 (愛知)

ベスト16

〈男子ダブルス〉

- 1回戦 佐山・中島(新潟産大附) 3-2 田村・日高(大阪桐蔭・大阪)
- 1回戦 関・龍崎 (開志国際) 0-3 鈴木・田中(静岡学園・静岡)
- 2回戦 佐山・中島(新潟産大附) 3-1 藤元・加藤(明徳義塾・高知)
- 3回戦 佐山・中島(新潟産大附) 1-3 前川・林 (富田・岐阜)

ベスト32

〈男子シングルス〉

- 1回戦 関 (開志国際) 3-0 鍋倉(宮崎商業・宮崎)
- 1回戦 小唄(新発田) 3-1 峯園(和歌山工業・和歌山)
- 1回戦 佐山(新潟産大附) 1-3 豊田(埼玉栄・埼玉)
- 1回戦 飯野(開志国際) 3-0 木村(近江・滋賀)
- 2回戦 関 (開志国際) 3-2 石川(学館浦安・千葉)
- 2回戦 小唄(新発田) 1-3 狩野(埼玉栄・埼玉)
- 2回戦 飯野(開志国際) 3-2 杉浦(出雲北陵・島根)
- 3回戦 関 (開志国際) 0-3 篠塚(愛工大名電・愛知)
- 3回戦 飯野(開志国際) 0-3 高橋(実践学園・東京)

ベスト64

ベスト64

〈女子学校対抗〉

- 1回戦 開志国際 2-3 土佐女子(高知)

〈女子ダブルス〉

- 1回戦 山田・星野(上越) 2-3 阿久根・渡邊(鶴岡南・山形)
- 1回戦 佐藤・児玉(開志国際) 1-3 若林・西脇 (滋賀学園・滋賀)

〈女子シングルス〉

- 1回戦 渡辺美乃(開志国際) 3-2 小野 (五所商業・青森)
- 1回戦 児玉 (開志国際) 0-3 八ツ田(正智深谷・埼玉)
- 1回戦 横山 (北越) 2-3 藤原 (進徳女子・広島)
- 1回戦 佐藤 (開志国際) 2-3 香川 (富田・岐阜)
- 2回戦 渡辺美乃(開志国際) 0-3 山崎 (宇都宮文星・栃木)

大学附属高校は茨城県の岩瀬日高校に三―一の勝利。そして二回戦宮崎県の日南学園に二―三の惜敗。

第一代表の開志国際高校は一回戦和歌山県の和歌山工業に三―二、二回戦は徳島県の徳島城南高校に三―一、そして三回戦は第一シード愛工大名電とあたり〇―三で惜しくも敗退しましたが、ベスト十六の結果でした。そして第一シードの強さを身をもって感じられたこと、は大きな財産になったのではないでしょう

か。若いチームなのでまた次の選抜、来年と期待されます。新潟県から二校が出場しどちらも初戦を勝ち抜いていることは全体的に力がついていることの表れではないでしょうか。新潟県は一定の力があることはすでに示せていると思います。課題は、トップを目指すのか?そうだとしたら必要なものは?と日々考えています。

女子学校対抗は開志国際高校が高知県の土佐女子高校に〇―三でし





た。県での混戦を勝ち抜いてきただけに期待していたのですが、なかなか全国では結果が出せない状態です。どこかできつかけがつかめれば勝っていけるのではないかと感じています。

男子ダブルスは新潟産大附の佐山・中島組が三回戦進出(ベスト三十二)と立派な成績を残しました。

女子ダブルスは両チームともに初戦敗退でした。



男子シングルスは関君(開志国際)、飯野君が三回戦進出(ベスト六十四)、小唄君(新発田)、が二回戦、佐山君(新潟産大附)が初戦敗退。

女子シングルスは渡辺美乃さん(開志国際)が二回戦、児玉さん(開志国際)、横山さん(北越)、佐藤さん(開志国際)が初戦敗退でした。

今回の大会を見て思うことは、男子が今活躍していますが、何年前かまでは女子が活躍していた時期があり、どちらかが弱いというよりは、その時々タイミングなのかと。男子が強い時もあり女子が強い時もあり、

り、なのかなと思います。ただ卓球を頑張るのは学生の時まで、就職になると困ってしまう(実業団として卓球をできるような環境?)のでどこまで卓球するのか、と考えている風潮はあるのかと思います。Tリーグが開催され卓球のプロとして生活していく道がこれから開かれていくのですが、それは一握りの選手になるのでしょうか。もちろんいつかTリーグのようにご当地選手を応援することは、そんなに遠い未来ではないと思います。トップのほうには皆有名な実業団選手だったり、有名高校・強豪校のOB、OGだったり。そこに割って入っていくのはだいぶ難しいのではないのでしょうか。新潟県の目指す道は何だろうかと思えます。石川、福井をモデルにするのでしょうか、長野、富山を参考にするのでしょうか。学生トップを目指し強豪校へ、後は県外で卓球を続けるために就職するか、卓球は学生までと決め全日本以外の大会上位を目指し県内でがんばるのか。学生の将来をあれこれ想像しながらのインハイ観戦でした。



原点回帰

ノングルー時代こそ元祖・高弾性高摩擦ラバー

MARK V へ帰る

Yasaka

<http://www.yasaka-jp.com>

令和２年度 一般会計決算書

令和3年3月31日現在

(単位：円)

〔収入の部〕

(単位：円)

項 目	前年度実収決算(A)	前年度基本決算(B)	比較(A－B)	備 考
繰 越 金	6,525,496	7,546,612	△1,021,116	
登 録 料	12,090,000	8,850,400	3,239,600	
団体	1,078,000	906,000	172,000	
新発田支部	90,000	85,000	5,000	@5,000×17団体
佐渡	15,000	15,000	0	@5,000×3団体
新潟	360,000	310,000	50,000	@5,000×62団体
三条	95,000	75,000	20,000	@5,000×15団体
長岡	150,000	105,000	45,000	@5,000×21団体
魚沼	65,000	65,000	0	@5,000×13団体
十日町	30,000	25,000	5,000	@5,000×5団体
柏崎	100,000	80,000	20,000	@5,000×16団体
上越	120,000	95,000	25,000	@5,000×19団体
妙高	40,000	40,000	0	@5,000×8団体
大学生	13,000	11,000	2,000	@1,000×11人
日卓協個人	10,062,000	7,916,400	2,145,600	
選手一般	2,016,000	1,539,200	476,800	@1,600×962人
教職員	32,000	20,800	11,200	@1,600×13人
日学連	150,000	133,200	16,800	@1,200×111人
高校生	1,560,000	1,168,000	392,000	@1,000×1,168人
中学生	4,744,000	3,643,200	1,100,800	@800×4,554人
小学生	344,000	280,800	63,200	@800×351人
役員一般	368,000	313,600	54,400	@1,600×198人
教職員	848,000	817,600	30,400	@1,600×511人
審判登録料	950,000	28,000	922,000	
国際審判員(更新)	20,000	5,000	15,000	@5,000×1人
国際審判員(新規)	0	5,000	△5,000	@5,000×1人
公認レフェリー	40,000	0	40,000	@10,000×0人
上級公認審判員(旧年度更新)	30,000	12,000	18,000	@6,000×2人
上級公認審判員(旧年度更新)	0	0	0	@8,000×0人
上級公認審判員(新規)	0	0	0	@8,000×0人
公認審判員(一般新規)	80,000	4,000	76,000	@4,000×1人
公認審判員(旧一般更新)	100,000	0	100,000	@2,000×0人
公認審判員(旧一般更新)	0	0	0	@4,000×0人
公認審判員(高校生)	300,000	2,000	298,000	@2,000×1人
B級→公認	10,000	0	10,000	@2,000×0人
B級	370,000	0	370,000	@1,000×0人
大会参加料	6,277,000	866,000	5,411,000	
実業団	0	0	72,000	@8,000×0団体
クラブ1・2・3・4部	400,000	0	400,000	@8,000×0団体
クラブ5部	66,000	0	66,000	@3,000×0団体
ホープスT	52,500	0	52,500	@1,500×0団体
レディースT	120,000	0	120,000	@8,000×0団体
W	90,000	0	90,000	@2,000×0組
社会人S	60,000	0	60,000	@1,500×0人
W	40,000	0	40,000	@2,000×0組
マスターズ	225,000	0	225,000	@1,500×0人
国体成年予選会	90,000	0	90,000	@1,500×0人
少年予選会	490,000	0	490,000	@1,000×0人
高校1年生	330,000	0	330,000	@1,000×0人
W選手権	320,000	0	320,000	@2,000×0組
会長杯(一般)	195,000	87,000	108,000	@1,500×58人
(ジュニア)	640,000	80,000	560,000	@1,000×80人
カデットS	142,500	0	142,500	@500×0人
W	95,000	0	95,000	@1,000×0組
ホープス・カブ・ハンビS	95,000	0	95,000	@500×0人
高校選抜T	300,000	192,000	108,000	@6,000×32団体
S	256,000	135,000	121,000	@1,000×135人
中学新人T	168,000	159,000	9,000	@3,000×53団体
S	225,000	137,500	87,500	@500×275人
全日本フジボール男子選S	105,000	0	105,000	@1,500×0人
全日本フジボール男子選S	37,500	0	37,500	@1,500×0人
全日本フジボール男子選W	40,000	0	40,000	@2,000×0組
全日本フジボール男子選W	20,000	0	20,000	@2,000×0組
世代交流W	160,000	0	160,000	@2,000×0組
国体・フジ・カブ・ハンビ予選計	45,000	0	45,000	@1,500×0団体
国体・フジ・カブ・ハンビ予選計	75,000	75,500	△500	@500×151人
東京選手権男子選(一般)	210,000	0	210,000	@1,500×0人
(ジュニア)	200,000	0	200,000	@1,000×0人
(カデット)	15,000	0	15,000	@500×0人
東京選手権男子選W	80,000	0	80,000	@2,000×0組
中部日本選手権男子選(一般)	127,500	0	127,500	@1,500×0人
(ジュニア)	130,000	0	130,000	@1,000×0人
(カデット)	40,000	0	40,000	@500×0人
小学生ランキンギ戦	500,000	0	500,000	@500×0人
受 託 金	688,000	0	688,000	県スポーツ協会から強化事業委託
国体強化事業(通年強化)	72,000	0	72,000	
強化スタッフ支援事業	112,000	0	112,000	
新潟ジュニア育成事業	504,000	0	504,000	
受託金(山形県補助金)	0	0	0	
補 助 金	3,460,000	0	3,460,000	県教育委員会から
本国体派遣	3,200,000	0	3,200,000	鹿児島県鹿児島市開催 4種別
北信越国体派遣	230,000	0	230,000	富山県黒部市開催 3種別
国体ユニフォーム費	30,000	0	30,000	
審判事業収入	10,000	0	10,000	
講習会	5,000	0	5,000	講習会受講のみ
資料代	5,000	0	5,000	ルールブック販売
その他	0	0	0	
繰 入 金	0	0	0	
諸 収 入	252,100	1,221,234	△ 969,134	
広告料等	112,000	112,000	0	ナナク(28,000)、ニッケア(28,000)、タマス(28,000)等計、三友(28,000)
特別協賛金	40,000	40,000	0	ウィタス(ヤマト)(40,000)
段位取得還元金	100,000	13,450	86,550	
預金利息	100	84	16	
その他	0	1,055,700	△1,055,700	新型コロナ対策支援金(日卓協)・ゼッケン再発行
合 計	29,302,596	18,484,246	10,818,350	

令和２年度 特別会計決算書

特別基金

令和3年3月31日現在

収 入 の 部	支 出 の 部	
前年度より繰越	4,933,819	0
一般会計より繰入	1,000,000	0
段位還元金	13,450	0
利息	44	0
合 計	5,947,313	0

(収入)5,947,313円－(支出)0円＝(残金)5,947,313円

〔支出の部〕

(単位：円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(A－B)	備 考
会 費	485,000	400,000	85,000	
日本卓球協会	100,000	100,000	0	加盟団体分担金・賛助会費
県体育協会	200,000	200,000	0	加盟団体会費
中部日本卓球連盟	40,000	40,000	0	加盟団体会費
全国教職員卓球連盟	20,000	0	20,000	連盟費
北信越高校合宿	50,000	0	50,000	
北信越中学校合宿	50,000	50,000	0	
北信越卓球連盟加盟金	10,000	10,000	0	県分担金
県立アリーナ建設促進会費	15,000	0	15,000	加盟団体分担金
登 録 料	7,822,150	5,930,430	1,891,720	
日本卓球協会	6,858,200	5,389,960	1,468,240	
選手一般	1,512,000	1,154,400	357,600	@1,200×962人
教職員	20,000	13,000	7,000	@1,000×13人
日学連	85,000	75,480	9,520	@680×111人
高校生	873,600	654,080	219,520	@560×1,168人
中学生	3,320,800	2,550,240	770,560	@560×4,554人
小学生	240,800	196,560	44,240	@560×351人
役員一般	276,000	235,200	40,800	@1,200×196人
教職員	530,000	511,000	19,000	@1,000×511人
日学連還元金	31,250	27,750	3,500	@250×111人
全国高体連還元金	312,000	233,600	78,400	@200×1,168人
全国教職員還元金	110,000	104,800	5,200	@200×524人
審判員日卓協登録料	309,000	17,000	292,000	
国際審判員(更新)	12,000	3,000	9,000	@3,000×1人
国際審判員(新規)	0	3,000	△3,000	@3,000×1人
公認レフェリー	32,000	0	32,000	@8,000×0人
上級公認審判員(旧年度更新)	20,000	8,000	12,000	@4,000×2人
上級公認審判員(旧年度更新)	0	0	0	@6,000×0人
上級公認審判員(新規)	0	0	0	@6,000×0人
公認審判員(一般新規)	40,000	2,000	38,000	@2,000×1人
公認審判員(旧一般更新)	50,000	0	50,000	@1,000×0人
公認審判員(旧一般更新)	0	0	0	@2,000×0人
公認審判員(高校生)	150,000	1,000	149,000	@1,000×1人
B級→公認	5,000	0	5,000	@1,000×0人
支部還元金	201,700	157,320	44,380	@20×7,866人
大会開催費	3,460,000	965,440	2,494,560	
実業団・クラブ1～5部	90,000	0	90,000	大会主管費
レディース	70,000	0	70,000	大会主管費
社会人	70,000	0	70,000	大会主管費
マスターズ	70,000	0	70,000	大会主管費
国体成年予選会	70,000	0	70,000	大会主管費
少年予選会	110,000	0	110,000	大会主管費
高校1年生	90,000	0	90,000	大会主管費
W選手権	100,000	0	100,000	大会主管費
会長杯一般	80,000	80,000	0	大会主管費
ジュニア	110,000	110,000	0	大会主管費
カデット	70,000	0	70,000	大会主管費
ホープス・カブ・ハンビ(T・S)	90,000	0	90,000	大会主管費
高校選抜	140,000	140,000	0	大会主管費
中学新人	120,000	120,000	0	大会主管費
全日本フジボール男子選	60,000	0	60,000	大会主管費
全日本フジボール男子選	60,000	0	60,000	大会主管費
世代交流W	70,000	0	70,000	大会主管費
国体・フジ・カブ・ハンビ予選計	70,000	140,000	△70,000	大会主管費 2日間の大会に変更になった為
東京選手権男子選(一般・W)	60,000	0	60,000	大会主管費
東京選手権男子選(ジュニア)	60,000	0	60,000	大会主管費
東京選手権男子選(カデット)	60,000	0	60,000	大会主管費
中部日本選手権男子選(一般)	70,000	0	70,000	大会主管費
(ジュニア)	70,000	0	70,000	大会主管費
(カデット)	70,000	0	70,000	大会主管費
小学生ランキンギ戦	450,000	0	450,000	大会主管費
消耗品費	450,000	130,416	319,584	ボール代等
賞状印刷費等	200,000	119,650	80,350	賞状印刷代、大会案内ハガキ印刷代
表彰費	300,000	84,000	216,000	メダル代等
通信費	70,000	41,374	28,626	郵便代等
強 化 費	3,600,000	460,880	3,139,120	
通年強化事業	1,700,000	100,000	1,600,000	各種強化合宿・練習会・国体二次予選会
国体強化事業	1,000,000	0	1,000,000	遠征、強化合宿等・国体ユニフォーム補助
優秀選手育成チーム補助	500,000	0	500,000	
優秀選手支援費	360,000	360,000	0	
強化部諸活動費	40,000	880	39,120	会議費・事務費
国体派遣費	6,130,000	0	6,130,000	
本国体	5,600,000	0	5,600,000	鹿児島県鹿児島市開催 4種別
北信越国体	500,000	0	500,000	富山県黒部市開催 3種別
国体ユニフォーム補助	30,000	0	30,000	
普 及 費	360,000	13,444	346,556	
表彰費	100,000	0	100,000	表彰盾、賞状、謝礼金等
講習会開催	235,000	0	235,000	各種指導者講習会費用
会議費・事務経費等	25,000	13,444	11,556	会議費、旅費、印刷代、事務用品等
広 報 費	280,000	132,275	147,725	
印刷代	250,000	132,000	118,000	1000部×(2回発行)
会議費・事務経費等	30,000	275	29,725	郵送料、事務経費等
審判部費	640,000	9,199	630,801	
講習会費用(B級→国際)	380,000	0	380,000	高校講習会、研修会
印刷代	160,000	0	160,000	ルールブック印刷費
審判員活動費	30,000	0	30,000	遠征補助、会議費
事務経費	70,000	9,199	60,801	送料、文具
委員会費	500,000	241,171	258,829	
大学	50,000	0	50,000	
高校	200,000	136,875	63,125	
中学	100,000	38,532	61,468	
小学生	50,000	47,040	2,960	
レディース	50,000	0	50,000	
マスターズ	50,000	18,724	31,276	
大会開催負担費	200,000	200,000	0	
特別基金返還金(特別基金)	200,000	200,000	0	
運 営 費	3,082,000	2,050,756	1,031,244	
印刷費	30,000	0	30,000	会議資料等
旅費宿泊費	500,000	453,273	46,727	理事会旅費等
通信費	300,000	82,144	217,856	登録事務費を含む
会議費	150,000	149,292	708	理事会会場費・食事費等
事務費	100,000	1,858	98,142	登録事務費を含む
慶弔費	30,000	5,000	25,000	
国体資金	400,000	0	400,000	
事務局費	1,300,000	1,238,971	61,029	
事務機器購入費	0	0	0	
印・メール事務手当	72,000	80,000	△8,000	
諸経費	200,000	40,218	159,782	
繰 出 金	1,100,000	1,013,450	86,550	段位還元金+1000,000円を特別会計へ
予 備 費	1,643,446	0	1,643,446	
合 計	29,302,596	11,417,045	17,885,551	

(最終決算) (収入)18,484,246円－(支出)11,417,045円

＝(次年度への繰越金)7,067,201円

